



# UBL12H

ユーザーマニュアル



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL : 0476(89)1111 FAX : 0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## はじめに

この度は、American DJ UBL12Hをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。UBL12Hは、ライムカラーを加えた高性能 HEX LEDを搭載。12個の20W LED(赤・緑・青・アンバー・ライム・UV)により、豊かなカラー表現を可能にしたLEDウォッシャーです。ライムチップの追加により、演色性指数(CRI)90以上の高い色再現性を実現しています。本製品の性能を最大限に発揮し、末永くお使いいただくため、ご利用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

## 特徴

- ・ 色温度のリニア調整 ( 2,300K ~ 9,900K)
- ・ RGBAL + UV カラーミキシング
- ・ 水平マグネットアライメント機能
- ・ ADJ UC-IR24に対応
- ・ RDM対応

## 付属品

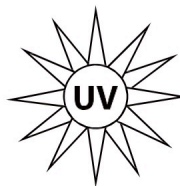
- ・ 電源ケーブル x 1
- ・ UC-IR24 x 1
- ・ 20° ディフュージョンフィルター x 1

## 紫外線について



注意

紫外線光注意



目や皮膚に損傷与える恐れあり。適切な保護装置を用いること

- ・ 本製品は、UVカラーフィルターから高強度の紫外線(UV)波長を放射します。
- ・ 適切な目と皮膚の保護具を着用してください。
- ・ UVカラーフィルターへの長時間の曝露を避けてください。
- ・ 白色の衣類の着用や、皮膚へのUV塗料の使用は避けてください。
- ・ 3.3メートル未満での直接的な目や皮膚への曝露を避けてください。
- ・ 外部カバーが破損または欠損している状態で器具を操作しないでください。
- ・ UV光を直接見たり、光や放射線を集光する光学機器で直接観察しないでください。

## 安全上の注意



アースの接続を確実に行ってください。



本製品を分解して、修理や改造をおこなわないでください。



屋内で使用し、雨や湿気にさらさないでください。

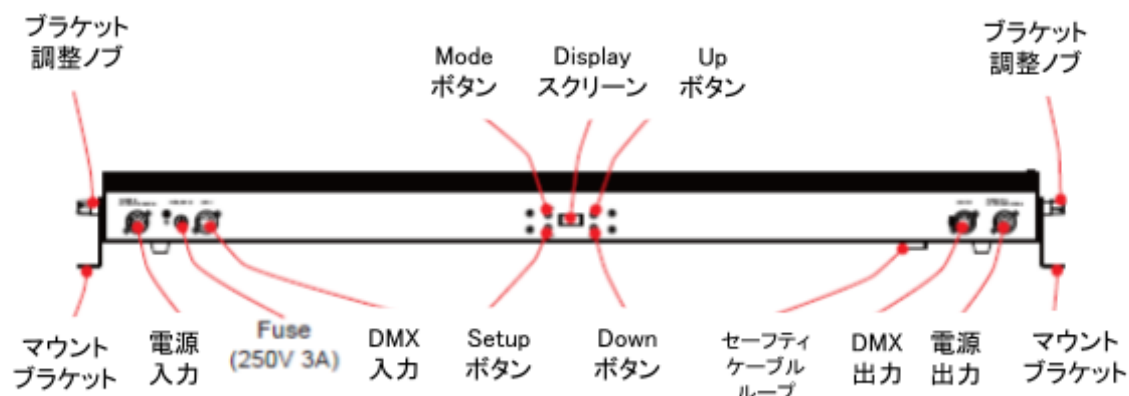


光源を直接みないでください。網膜損傷、てんかん発作を引き起こすリスクがあります。

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないかを確認してください
2. 異常が認められる場合は、本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください
3. 本製品は、必ず安全で、安定した場所に設置してください
4. 電源ケーブルは挟まれたりすることのない場所に設置してください
5. 接続がすべて完了してから本製品の電源を入れてください
6. 他の機材と接続する際は、必ず電源ケーブルをコンセントから外して下さい
7. ケーブルを抜き差しする際は必ずコネクター部を持っておこなってください
8. AC100V 50/60Hzにてご使用ください
9. ディマーパックからの電源供給は行わないでください
10. 本体カバーを外さないでください
11. 本製品は屋内用となります
12. 周辺温度が40度を超える環境では使用しないでください
13. 壁から約15cm以上離し、通気性の良い場所に設置してください
14. 本製品に布やシートをかぶせないでください
15. 周辺に可燃物や爆発物、温度の高い物などを置かないでください
16. 本製品に液体がかからないようにしてください
17. 雨天や湿気にさらさないようにしてください
18. 長時間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい
19. 故障が生じた場合は販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください
20. メンテナンス以外の目的において、本製品を分解しないでください
21. 付属の電源ケーブルは専用の電源ケーブルです。本製品をご使用の際は必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

故障が生じた場合は、販売店、またはサウンドハウスまでご連絡ください。メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

## 各部の名称



## 設置時の注意



本製品の設置は有資格者がおこなってください。

本機の設置は商業用電気・建設規則に従って行う必要があります。

- ・ 設置するトラスや取付エリアは、本機とすべての付属品の重量を十分に支えられる構造である必要があります。変形がないことを確認してください。
- ・ 本機は、適切に評価された安全ケーブルなどの二次的な安全対策で固定する必要があります。
- ・ 金属トラスや構造物に本機を取り付ける前、または機器を設置する前に、必ず専門の設備施工者に相談し、トラスや構造物が機器・クランプ・ケーブル・付属品の合計重量を安全に支えられる認証を受けていることを確認してください。
- ・ 動作温度範囲は  $-20^{\circ}\text{C} \sim 45^{\circ}\text{C}$  ( $-4^{\circ}\text{F} \sim 113^{\circ}\text{F}$ ) です。この範囲外の環境では本機を使用しないでください。
- ・ 歩行経路、座席エリア、または手で触れられる場所には設置しないでください。
- ・ 本機の設置、取り外し、点検時に機器の真下には絶対に立たないでください。

### 吊り下げ設置の安全対策

- ・ 吊り下げ設置を行う際は、適切に評価された安全ケーブルで固定し、十分な重量を支えられるようにしてください。
- ・ 吊り下げ設置は、負荷計算、設置材の知識、安全検査が必要な高度な作業です。これらの資格を持たない方は設置を行わないでください。
- ・ 設置は1年に1回、専門技術者による点検を受けてください

## クランプの取り付け

本製品には、マウンティングブラケット上部にクランプ取付用の穴が設けられています。  
以下の手順に従って、適切にクランプを取り付けてください。

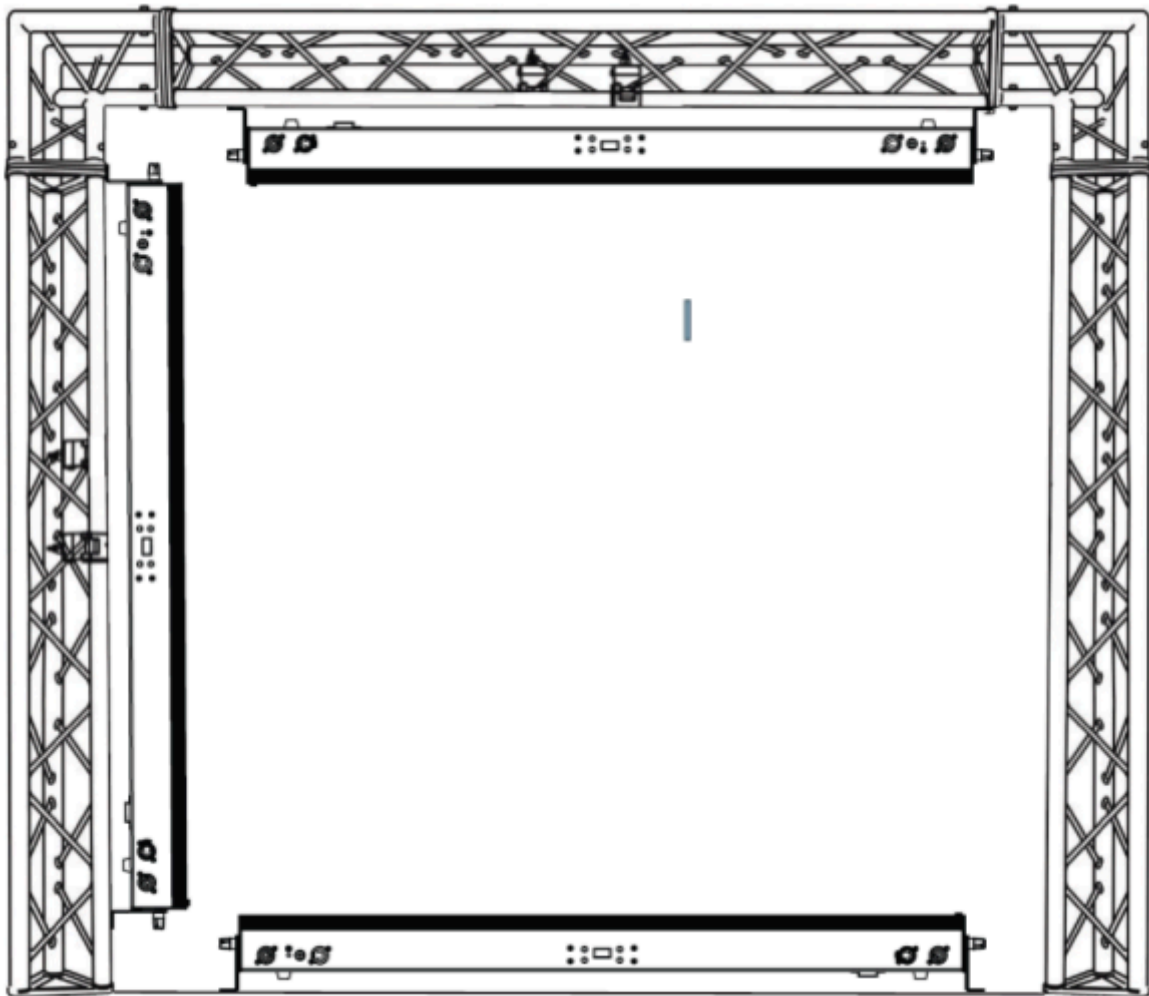
1. クランプの取付穴と、ブラケット上部の穴を正確に合わせます。
2. 適切なサイズのボルトを、穴に通して挿入します。
3. 対応するナットでしっかりと固定してください。

適切な耐荷重の安全ケーブルを、ブラケット側面の安全ホールに通して取り付けてください。  
※安全ケーブルは、万が一の落下を防ぐための必須項目です。



吊り下げ環境に本製品を設置する際は、必ずセーフティケーブルを取り付けてください。万が一クランプが外れた場合でも、本体の落下を防ぐために必要です。

## リギング



本製品は、以下の3つの設置方向で正常に動作します：

- ・ 天井やトラスからの逆さ吊り
- ・ トラスへの横向き設置
- ・ 平らで水平な床面への設置

設置の際は、可燃性のある装飾物などから最低12m以上離して設置してください。また、クランプが外れた場合の事故や損傷を防ぐために、必ずセーフティケーブル(別売)を取り付けてください。



吊り下げ環境に本製品を設置する際は、必ずセーフティケーブルを取り付けてください。万が一クランプが外れた場合でも、本体の落下を防ぐために必要です。

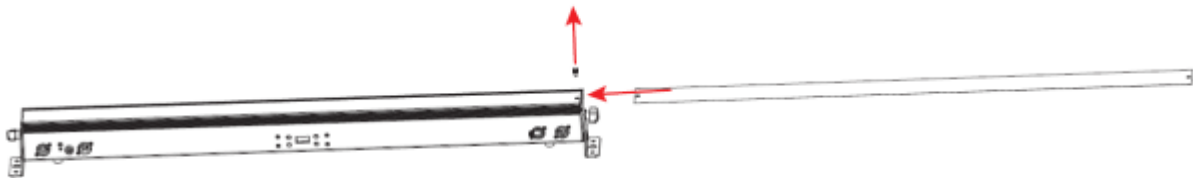
## アクセサリの取り付け

### ディフュージョンフィルター

本器具には、取り外し可能な20度のディフュージョンフィルターが付属しています。このフィルターを取り付けるには、以下の手順に従ってください：

1. 器具のレンズ側面にある固定ネジを取り外します。
2. ディフュージョンフィルターをレンズ前面のスロットに差し込みます。
3. フィルターの穴と固定ネジの穴を合わせます。
4. 固定ネジを再度取り付け、しっかりと締めてフィルターを固定します。

※ディフュージョンフィルターには両端に穴があり、どちらの向きでも取り付け可能です。



## リモートコントロール

このユニットは「プライマリモード」に設定することにより、ADJ UC IR24 リモートコントローラーで操作することができます。UC IR を使用してプライマリ/セカンダリモードで動作している複数のユニットを制御する際は、以下の手順に従ってユニットを設定してください:

1. 「MODE」ボタンを押して「Personality」メニューまでスクロールし、「SETUP」ボタンを押します。
2. 「UP」および「DOWN」ボタンで「Primary/Secondary」を選び、「SETUP」ボタンを押します。その後、「UP」および「DOWN」ボタンで「Primary」を選択します。
3. 「SETUP」ボタンを押して確定し、「Personality」メニューに戻ります。

### 注意事項:

- ・ プライマリとして設定するユニットは1台のみとし、その他のユニットはセカンダリとして設定してください。
- ・ すべてのユニットは同じチャンネルに設定してください。同一チャンネルに設定しても同期しない、またはコマンドに応答しない場合は、別のチャンネルを使用してみてください。
- ・ すべてのユニットは同じ DMX チャンネルモードに設定する必要があります。
- ・ 同期に失敗する場合は、上記設定をすべて確認し、各ユニットの電源を一度オフにしてから再度オンにして、リンクを再確立してください。

## コントロール

**ON / OFF (電源):** ONボタンを押すと、照明器具は直前の動作状態に復帰します。OFFボタンを押すと、ユニットはブラックアウト状態のスタンバイモードに切り替わります。

**ストロボ:** 選択したカラーまたはプログラムに対してストロボ動作を行います。ストロボ速度は「+ / -」ボタンで段階的に調整できます。0~15のボタンで直接ストロボ速度を選択可能で、1が最も遅く、15が最も速い設定です。

**サウンド:** 音声入力に基づいて選択されたプログラムがトリガーされます。マイク感度は「+ / -」ボタンで調整可能です。

**カラー:** カラー・ボタンを押すと、プリセットされたカラーが0~15のボタンで選択できます。選択したカラーの明るさは「+ / -」ボタンで調整可能です。

**プログラム:** プログラム・ボタンを押すと、内部プログラムを0~13のボタンで選択できます。選択したプログラムの再生速度は「+ / -」ボタンで調整可能です。

**+/- ボタン:** ストロボ速度、マイク感度、明るさ、プログラムの実行速度など、アクティブなモードに応じて調整が行えます。個別に押すと細かい調整、長押しすることで大きな変化を素早く設定できます。

**0~15のボタン:** アクティブなモードに応じて、プリセットカラーまたは内部プログラムの選択に使用します。必要に応じて、0~15の各ボタンに保存されたカラーはユニットのメニューから編集可能です。



## IR リモコン初期値

BUTTON	RED	GREEN	BLUE	AMBER	LIME
0	0	0	0	0	552
1	255	0	0	0	0
2	0	255	0	0	0
3	0	0	255	0	0
4	231	68	0	0	0
5	0	117	58	0	0
6	17	0	75	0	0
7	255	83	0	63	0
8	0	109	70	0	0
9	32	0	75	22	0
10	0	0	0	255	0
11	0	114	160	0	0
12	82	0	35	0	0
13	255	255	0	255	0
14	0	75	136	0	0
15	81	0	35	0	0

### IRボタン値の編集

この機器では、ユーザーがRGBAL(赤・緑・青・アンバー・ライム)のカスタム値を作成し、リモコンの番号付きボタン(0~15)に割り当てることができます。以下の手順で設定してください:

1. メインシステムメニューで「MODE」ボタンを押して「Personality」まで移動し、「SETUP」ボタンを押します。「UP」および「DOWN」ボタンで「IR Button Colors」を選び、「SETUP」ボタンを再度押します。
2. 「UP」および「DOWN」ボタンを使用して、設定したいリモコンボタンの番号を選択します。選択肢は「Button 0」から「Button 15」まであります。表示されたボタンを「SETUP」ボタンで選択します。
3. 選択したボタンに割り当てるカスタムカラーを作成します。「UP」および「DOWN」ボタンでカラーコンポーネント(Red、Green、Blue、Amber、Lime)を選択し、「SETUP」ボタンで確定します。次に、「UP」および「DOWN」ボタンで各カラーコンポーネントの強度を000~255の範囲で調整します。これを必要な各カラーについて繰り返し、希望するRGBAL値を設定してカスタムカラーを作成してください。

#### 注意

一度リモートボタンにカスタムカラー値を作成・割り当てると、リモートボタンのデフォルトカラーは上書きされます。これにより、実際の照明器具の出力色が、リモートボタンに表示されている色と一致なくなる場合があります。元のデフォルトカラー値に戻すには、Personality > Service > Factory Restore に移動して、ユニットを工場出荷時の設定にリセットしてください。

複数のユニットがプライマリ・セカンダリ構成でリンクされている場合、カスタムカラー値の設定はプライマリユニットのみに行います。設定されたカスタムカラーは、システム内のすべてのセカンダリユニットに自動的に引き継がれます。

## REMOTE DEVICE MANAGEMENT (RDM)

### RDMとは？

RDM (Remote Device Management) は、照明制御用のDMX512データ規格の上位に位置するプロトコルで、照明機器のDMXシステムを遠隔で変更・監視できるようにするものです。このプロトコルは、手の届きにくい場所に設置された機器の設定などに特に適しています。RDMを正しく機能させるためには、DMXデータスプリッターやワイヤレスシステムを含む、システム全体でRDM対応機器を使用する必要があります。

### RDMの仕組み

- RDMにより、DMX512システムは双方向通信が可能になります。
- RDM対応のコントローラーは、接続された機器に信号を送信できるだけでなく、機器からの応答(GETコマンド)も受け取ることができます。
- コントローラーはSETコマンドを使い、通常は機器本体で行う設定を遠隔で操作できます。

### 遠隔で変更・確認できる主な設定項目

- DMXアドレス
- DMXチャンネルモード
- 温度センサーの情報

### フィクスチャーインフォメーション

RDM Code	Device ID	Device Model ID	Personality ID
1900	0000-FFFF	7812	6Ch (1); 11Ch (2); 13Ch (3); 16Ch (4); 36Ch (5); 43Ch (6); 46Ch (7)

### RDM機能に関する重要な注意事項

RDM対応機器が、すべてのRDM機能に対応しているわけではありません。以下の点にご注意ください。

- 必要なRDM機能が、対象機器でサポートされているか
- 機器によっては、一部のRDMコマンド(GET/SET)にしか対応していない場合がある。
- RDM対応と記載されていても、実装されている機能の範囲はメーカーやモデルにより異なる。

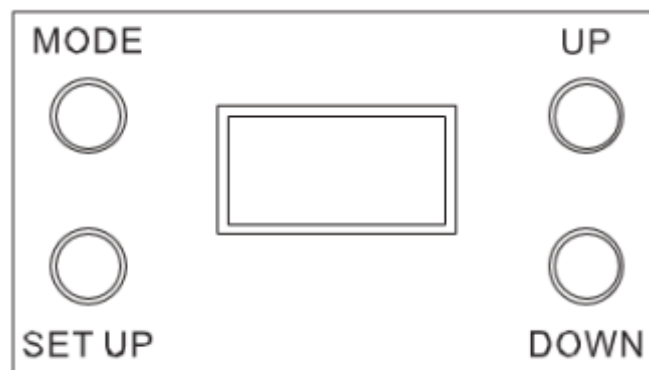
Disc Unique Branch [0x0001]
Disc Mute [0x0002]
Disc Un Mute [0x0003]
Supported Parameters [0x0050]
Device Info [0x0060]
Manufacturer Label [0x0081]
Device Label [0x0082]
Software Version Label [0x00C0]
DMX Personality [0x00E0]
DMX Start Address [0x00F0]
Sensor Value [0x0201c]
Curve [0x0343]
Curve Description [0x0344]
Identify Device [0x1000]
DMX Fail Mode [0x0141]

## コントロールパネル

この機器には、4ボタン式のコントロールパッド付きディスプレイが搭載されており、各種設定を簡単に調整することができます。

### 操作方法

1. MODEボタンを押すと、メインメニューの各項目が順番に表示されます。
2. 希望するメインメニュー項目が表示されたら、SETUPボタンを押してサブメニューに入ります。
3. UPボタンおよびDOWNボタンを使って、サブメニュー内の項目をスクロールします。
4. 一部のメニューでは、さらにサブメニューが存在し、同様の操作でナビゲートできます。



### スクリーンロック機能について

この照明機器には、一定時間操作がない場合にディスプレイ画面を自動でオフにする「ディスプレイロック機能」が搭載されています。

- 初期設定ではこの機能はOFF(無効)になっており、操作がなくてもディスプレイは常に点灯したままです。
- 設定を変更することで、最大10分間の無操作後に自動でディスプレイをオフにするように設定できます。

### 設定方法

1. システムメニューから Personality > Display > Lock に移動します。
2. ロックまでの時間(例:1分、5分、10分など)を選択して設定します。

### ロック解除方法

ディスプレイがロックされている状態で、MODEボタンを長押しすると、コントロールが解除されます。

## システムメニュー

SYSTEM MENU	OPTIONS/VALUES (Default settings in bold)		DESCRIPTION		
DMX SET	Address	<b>001 - 512</b>	DMXスタートアドレス設定		
	Ch. Mode	<b>6Ch, 11Ch, 13Ch, 16Ch, 18Ch, 25Ch, 28Ch</b>	DMXチャンネルモードの選択		
	No DMX	<b>Hold</b>	DMX信号が失われたり中断されたりしても最後の設定を保持		
		Blackout	DMX信号が失われたり中断された場合はブラックアウト		
		Manual	DMX信号が失われたり中断された場合はマニュアルモードで動作		
Internal Programs		DMX信号が失われたり中断された場合は内蔵プログラムで動作			
PERSONALITY	Primary/ Secondary Mode	Primary / Secondary	プライマリまたはセカンダリとして設定		
	IR Remote	<b>On / Off</b>	リモートコントロール機能の有効化/無効化		
	RDM	On / Off	RDM を有効または無効化		
	Pixel Flip	<b>Off = 1-3</b>	ピクセル割り当て構成を設定		
		On = 3-1			
	Dim Mode	<b>Standard</b>	ディマーモード選択		
		Stage			
		TV			
		Archi			
		Theatre			
		Stage 2			
	Dim Speed	0.1s - 10s			
	Dim Curve	Linear, Square, Inv. Squa., S. Curve		ディマーカーブの選択	
	Display	Save Dlay	1 - 10	一定時間操作しない場合、スクリーンセーバーモード	
		Lock	Off, 1min - 10min	一定時間操作しない場合、ディスプレイがロック。解除するには、MODEを10秒間長押し。	
		Rotate Display 180°	Yes	ディスプレイの反転表示	
			No	ディスプレイ反転の終了	
		<b>Auto</b>	ディスプレイ常時点灯		
	IR Button Colors	Button 0	Red	000 - 255	各リモコンボタンのカラーミックスを設定する
			Green	000 - 255	
Blue			000 - 255		
Amber			000 - 255		
Lime			000 - 255		
UV			000 - 255		
Button 1		Red	000 - 255		
		Green	000 - 255		
		Blue	000 - 255		
		Amber	000 - 255		
		Lime	000 - 255		
		UV	000 - 255		
...		...	...		
Button 15		Red	000 - 255		

			Green	000 - 255	
			Blue	000 - 255	
			Amber	000 - 255	
			Lime	000 - 255	
			UV	000 - 255	
	Service	Passcode = 011	Restore	Yes / No	工場出荷時の設定に戻す
MANUAL	Red	000 - 255			各システムパラメータを手動で設定します。 DMX信号が存在しない場合には、これらの設定が優先されます
	Green	000 - 255			
	Blue	000 - 255			
	Amber	000 - 255			
	Lime	000 - 255			
	UV	000 - 255			
	Clr Macro	000 - 063			
	Clr Temp	No Function, 2300K - 9900K			
	Clr Temp Pr	No Function, 2300K, 2600K, 2900K, 3200K, 3600K, 3900K, 4200K, 4500K, 4900K, 5500K, 6000K, 7000K, 8000K, 9000K, 9900K			
	Strobe	000 - 255			
	Mastr Dim	000 - 255			
INT PROGS	Program 0	Speed	000 - 255		各内部プログラムのパラメータを調整
		Fade	000 - 255		
		Sound	On / Off	001 - 016	
	Program 1	Speed	000 - 255		
		Fade	000 - 255		
		Sound	On / Off	001 - 016	
	...	...	...	...	
	Program 13	Speed	000 - 255		
		Fade	000 - 255		
		Sound	On / Off	001 - 016	
INFO	LED Temperature	xxx	F / C		現在のLED温度
	RDM UID	xxxxxx			RDM UIDを表示します
	Software Version	x.xx			ソフトウェアのバージョンを表示します

## DMX セットアップ

### DMX-512とは？

DMX (Digital Multiplex) は、照明機器とコントローラー間の通信に使用される汎用プロトコルです。

- DMXコントローラーは、DMXデータを照明機器に送信します。
- データはシリアル通信として送られ、各機器のDATA “IN” およびDATA “OUT” 端子 (XLRコネクター) を通じて機器間を伝送します。
- 多くのコントローラーにはDATA “OUT” 端子のみが搭載されています。

### DMXリンク(機器の接続)

DMXは「共通言語」として機能し、異なるメーカーやモデルの機器を1台のコントローラーで制御することが可能です(すべての機器がDMX準拠であることが前提)。

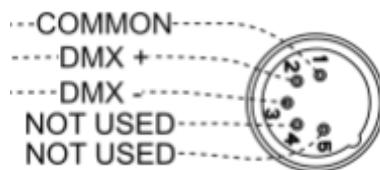
- 複数のDMX機器を接続する際は、できるだけ短いケーブル経路を使用することで、データ伝送の信頼性が向上します。
- DMXアドレスの割り当ては、接続順に依存しません。  
例: DMXアドレス「1」に設定された機器は、DMXラインの先頭・中間・末尾のどこに配置しても問題ありません。
- コントローラーは、アドレス「1」に対応するデータを、そのアドレスを持つ機器に送信します。

### DMXケーブルの要件

- コントローラーと機器には、標準の5ピンXLRコネクターが必要です(データ入力・出力用)。
- 自作する場合は、以下の仕様を守ってください:
  - 110~120Ωのシールド付きケーブル
  - 一方にXLRオスコネクター、もう一方にXLRメスコネクター
  - ケーブルはデジチェーン接続で行い、分岐(スプリット)は不可

### ケーブルを自作する際の注意事項

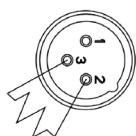
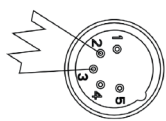
- 下図に従って正しく配線してください。
- XLRコネクターのグラウンドラグは使用しないでください。
- ケーブルのシールド導体をグラウンドラグやXLRの外装に接触させないでください。  
※ シールドを接地すると、ショートや誤動作の原因になります。



## ライン終端処理

長距離のケーブル配線を行う場合、信号の乱れや誤動作を防ぐために、最後の機器に終端処理(ターミネーション)を施す必要があります。

終端処理には、110~120オーム、1/4ワットの抵抗を使用し、XLRオスコネクタのピン2(DMX-)とピン3(DMX+)の間に接続します。この終端処理済みのXLRコネクタを、デジチェーンの最後の機器のXLRメス端子(DATA OUT)に差し込むことで、ラインを正しく終端できます。



DMX512ターミネーターは信号の反射干渉を避け、信号のエラーを減少させます。DMX512を終端するには、最後の機器のPIN 2(DMX-)とPIN 3(DMX+)の間に120オーム、1/4ワットの抵抗器を直列に接続します。

## アドレスの設定方法について

### すべての機器またはグループに同じアドレスを設定する場合:

すべての機器が同じ動作をします。つまり、1つのチャンネルの設定変更が、すべての機器に反映されます。

### 各機器に異なるアドレスを設定する場合:

各機器は、それぞれ設定されたチャンネル番号から信号を受信し始めます。これにより、特定のチャンネルの設定変更は、該当する機器のみに影響します。

例)

本機が6チャンネルモードで動作する場合、DMXアドレスは以下のように設定します:1台目は1、2台目は7(1+6)、3台目は13(1+6+6)…と続きます。詳しくは下の表をご確認ください」

CHANNEL MODE	UNIT 1 ADDRESS	UNIT 2 ADDRESS	UNIT 3 ADDRESS	UNIT 4 ADDRESS
6Ch	1	7	13	19
11Ch	1	12	23	34
13Ch	1	14	27	40
16Ch	1	17	33	49
36Ch	1	37	73	109
43Ch	1	44	87	130
46Ch	1	47	93	139

## DMXチャート

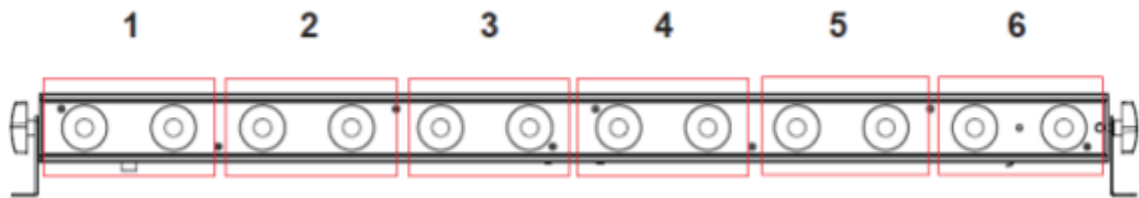
CHANNEL							DMX VALUES	FUNCTION
6Ch	11Ch	13Ch	16Ch	36Ch	43Ch	46Ch		
1	1	1	1				000 - 255	All Red, 0% to 100%
2	2	2	2				000 - 255	All Green, 0% to 100%
3	3	3	3				000 - 255	All Blue, 0% to 100%
4	4	4	4				000 - 255	All Amber, 0% to 100%
5	5	5	5				000 - 255	All Lime, 0% to 100%
6	6	6	6				000 - 255	All UV, 0% to 100%
				1	1	1	000 - 255	Red 1, 0% to 100%
				2	2	2	000 - 255	Green 1, 0% to 100%
				3	3	3	000 - 255	Blue 1, 0% to 100%
				4	4	4	000 - 255	Amber1, 0% to 100%
				5	5	5	000 - 255	Lime 1, 0% to 100%
				6	6	6	000 - 255	UV 1, 0% to 100%
				7	7	7	000 - 255	Red 2, 0% to 100%
				8	8	8	000 - 255	Green 2, 0% to 100%
				9	9	9	000 - 255	Blue 2, 0% to 100%
				10	10	10	000 - 255	Amber 2, 0% to 100%
				11	11	11	000 - 255	Lime 2, 0% to 100%
				12	12	12	000 - 255	UV 2, 0% to 100%
				13	13	13	000 - 255	Red 3, 0% to 100%
				14	14	14	000 - 255	Green 3, 0% to 100%
				15	15	15	000 - 255	Blue 3, 0% to 100%
				16	16	16	000 - 255	Amber 3, 0% to 100%
				17	17	17	000 - 255	Lime 3, 0% to 100%
				18	18	18	000 - 255	UV 3, 0% to 100%
				19	19	19	000 - 255	Red 4, 0% to 100%
				20	20	20	000 - 255	Green 4, 0% to 100%
				21	21	21	000 - 255	Blue 4, 0% to 100%
				22	22	22	000 - 255	Amber 4, 0% to 100%
				23	23	23	000 - 255	Lime 4, 0% to 100%
				24	24	24	000 - 255	UV 4, 0% to 100%
				25	25	25	000 - 255	Red 5, 0% to 100%
				26	26	26	000 - 255	Green 5, 0% to 100%
				27	27	27	000 - 255	Blue 5, 0% to 100%
				28	28	28	000 - 255	Amber 5, 0% to 100%

				29	29	29	000 - 255	<b>Lime 5, 0% to 100%</b>
				30	30	30	000 - 255	<b>UV 5, 0% to 100%</b>
				31	31	31	000 - 255	<b>Red 6, 0% to 100%</b>
				32	32	32	000 - 255	<b>Green 6, 0% to 100%</b>
				33	33	33	000 - 255	<b>Blue 6, 0% to 100%</b>
				34	34	34	000 - 255	<b>Amber 6, 0% to 100%</b>
				35	35	35	000 - 255	<b>Lime 6, 0% to 100%</b>
				36	36	36	000 - 255	<b>UV 6, 0% to 100%</b>
	7	7	7		37	37	000 - 255	<b>Color Macros, see Color Macros Chart pg. 25</b>
	8	8	8		38	38	000 - 255	<b>Color Temperature, 2300K - 9900K Linear</b>
	9	9	9		39	39		<b>Color Temperature Presets</b>
							000 - 010	No Function
							011 - 026	2300K
							027 - 043	2700K
							044 - 060	3000K
							061 - 076	3200K
							077 - 093	4000K
							094 - 110	4500K
							111 - 126	5000K
							127 - 143	5600K
							144 - 160	6500K
							161 - 176	7000K
							177 - 193	7500K
							194 - 210	8000K
							211 - 226	8500K
							227 - 255	9900K
	10	10	10		40	40		<b>Shutter / Strobe</b>
							000 - 031	LEDs Off
							032 - 063	LEDs On
							064 - 095	Strobe Effect, slow to fast
							096 - 127	LEDs On
							128 - 159	Pulse Effect in Sequences
							160 - 191	LEDs On
							192 - 223	Random Strobe Effect, slow to fast
							224 - 255	LEDs On
	11	11	11		41	41	000 - 255	<b>Dimmer Intensity, 0% to 100%</b>
			12			42		<b>Auto Programs</b>
							000 - 010	Off
							011 - 026	Program 1
							027 - 043	Program 2

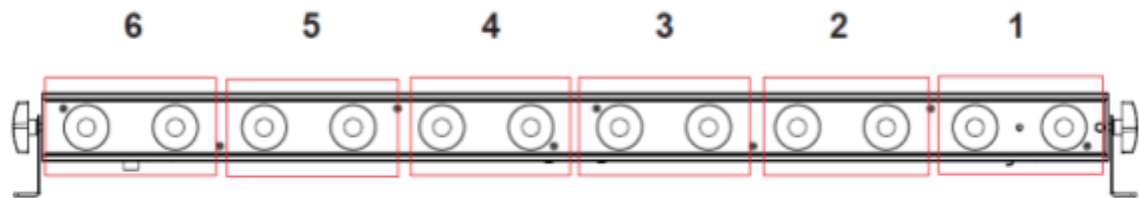
						044 - 060	Program 3
						061 - 076	Program 4
						077 - 093	Program 5
						094 - 110	Program 6
						111 - 126	Program 7
						127 - 143	Program 8
						144 - 160	Program 9
						161 - 176	Program 10
						177 - 193	Program 11
						194 - 210	Program 12
						211 - 226	Program 13
						227 - 255	No Function
			13			43	000 - 255 <b>Auto Program Speed, slow to fast</b>
			14			44	000 - 255 <b>Auto Program Fade, 0% to 100%</b>
		12	15		42	45	<b>Dim Mode</b>
							000 - 020 Default to Unit Setting
							021 - 040 Standard
							041 - 060 Stage
							061 - 080 TV
							081 - 100 Architectural
							101 - 120 Theatre
							121 - 140 Stage 2
							140 - 160 Dim Speed, fast to slow (0.1s to 10s)
							161 - 255 Default to Unit Setting
		13	16		43	46	<b>Dim Curves</b>
							000 - 020 Square
							021 - 040 Linear
							041 - 060 Inv. Squa
							061 - 080 S. Curve
							081 - 255 No Function

## PIXEL グループ

PIXEL FLIP OFF



PIXEL FLIP ON



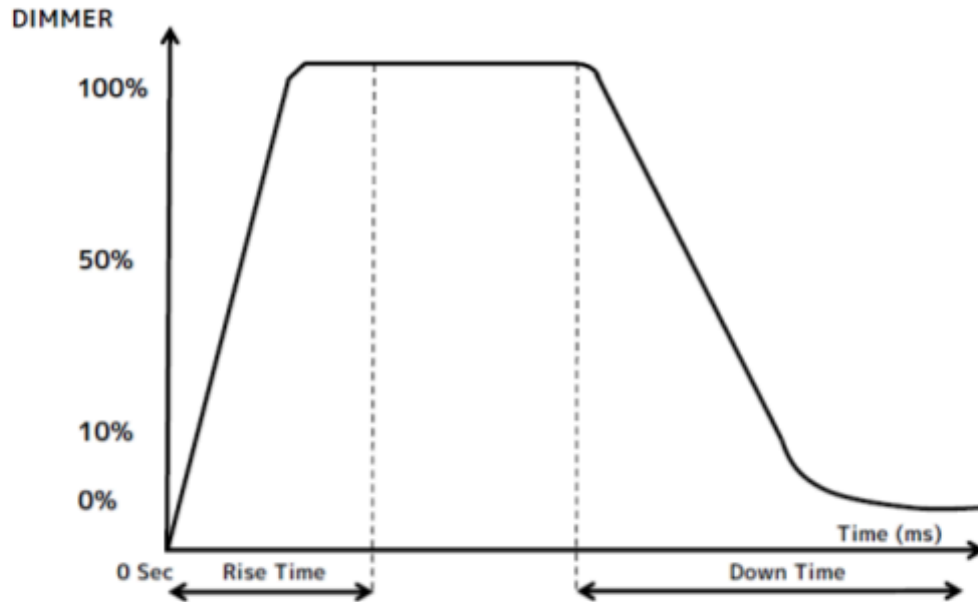
## カラーマクロ

DMX VALUES	COLORS	DMX VALUES	COLORS
000 - 003	Off	128 - 131	G+B+L
004 - 007	Red	132 - 135	G+B+A
008 - 011	Green	136 - 139	G+B+UV
012 - 015	Blue	140 - 143	G+L+A
016 - 019	Lime	144 - 147	G+L+UV
020 - 023	Amber	148 - 151	G+A+UV
024 - 027	UV	152 - 155	B+L+A
028 - 031	R+G	156 - 159	B+L+UV
032 - 035	R+B	160 - 163	B+A+UV
036 - 039	R+L	164 - 167	L+A+UV
040 - 043	R+A	168 - 171	R+G+B+L
044 - 047	R+UV	172 - 175	R+G+B+A
048 - 051	G+B	176 - 179	R+G+B+UV
052 - 055	G+L	180 - 183	R+G+L+A
056 - 059	G+A	184 - 187	R+G+L+UV
060 - 063	G+UV	188 - 191	R+G+A+UV
064 - 067	B+L	192 - 195	R+B+L+A
068 - 071	B+A	196 - 199	R+B+L+UV
072 - 075	B+UV	200 - 203	R+B+A+UV
076 - 079	L+A	204 - 207	R+L+A+UV
080 - 083	L+UV	208 - 211	G+B+L+A
084 - 087	A+UV	212 - 215	G+B+L+UV
088 - 091	R+G+B	216 - 219	G+B+A+UV
092 - 095	R+G+L	220 - 223	G+L+A+UV
096 - 099	R+G+A	224 - 227	B+L+A+UV
100 - 103	R+G+UV	228 - 231	R+G+B+L+A
104 - 107	R+B+L	232 - 235	R+G+B+L+UV
108 - 111	R+B+A	236 - 239	R+G+B+A+UV
112 - 115	R+B+UV	240 - 243	R+G+L+A+UV
116 - 119	R+L+A	244 - 247	R+B+L+A+UV
120 - 123	R+L+UV	248 - 251	G+B+L+A+UV
124 - 127	R+A+UV	252 - 255	R+G+B+L+A+UV

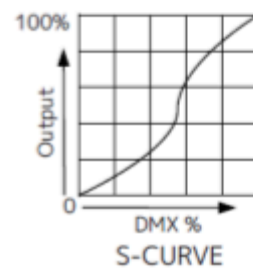
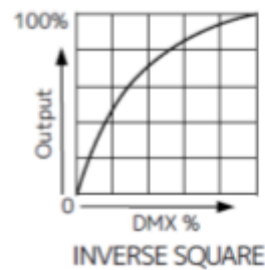
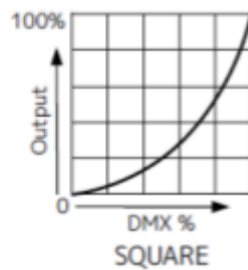
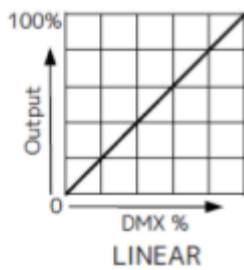
## ディマースピード

DMX VALUES	DELAY TIME
141	0.1 sec
142	0.2 sec
143	0.3 sec
144	0.4 sec
145	0.5 sec
146	0.6 sec
147	0.7 sec
148	0.8 sec
149	0.9 sec
150	1.0 sec
151	1.5 sec
152	2.0 sec
153	3.0 sec
154	4.0 sec
155	5.0 sec
156	6.0 sec
157	7.0 sec
158	8.0 sec
159	9.0 sec
160	10.0 sec

# ディマーカーブ



Dimming Curve Ramp Effect	0 sec Fade Time		1 sec Fade Time	
	Rise Time (ms)	Down Time (ms)	Rise Time (ms)	Down Time (ms)
Standard (default)	0	0	0	0
Stage	780	1100	1540	1660
TV	1180	1520	1860	1940
Architectural	1380	1730	2040	2120
Theatre	1580	1940	2230	2280
Stage 2	0	1100	0	1660



## PRIMARY-SECONDARY セットアップ

1. 各ユニット背面のXLRコネクタを使用して、ユニット同士をデジチェーン接続します。接続には標準のXLRデータケーブルを使用してください。XLRコネクタのうち、オス端子が入力、メス端子が出力です。チェーンの先頭となるプライマリユニットはメス端子のみを使用し、末尾のユニットはオス端子のみを使用します。
2. ディスプレイとコントロールパネルを操作し、「Personality > Primary/Secondary」に移動します。「SETUP」ボタンでサブメニューを選択し、「UP」および「DOWN」ボタンで「Primary」または「Secondary」を選択します。「SETUP」ボタンで設定を確定します。
3. システム内の各ユニットについて、ステップ2の操作を繰り返します。必ず1台だけを「Primary」に設定し、それ以外はすべて「Secondary」に設定してください。
4. セカンダリユニットは、プライマリユニットの動作に追従するようになります。

### 注意事項:

- プライマリとして設定するユニットは1台のみとし、その他すべてはセカンダリとして設定してください。
- 全ユニットは同一のDMXチャンネルモードに設定する必要があります。
- ユニットの同期に失敗する場合は、上記設定がすべて一致しているか確認し、すべての機器の電源を一度切ってから再度入れることでリンクを再確立してください。

## メンテナンスガイドライン



メンテナンスを行う前に、必ず電源を切ってください。

### クリーニング

適切な動作、最適な光出力、そして製品寿命を延ばすために、定期的な清掃推奨します。清掃の頻度は、使用環境によって異なります。湿気の多い場所、煙のある場所、または特に汚れやすい環境では、光学部品に汚れが蓄積しやすくなります。

外部レンズ表面は、柔らかい布で定期的に拭き取り、汚れや異物の蓄積を防いでください。

アルコール、溶剤、アンモニア系クリーナーは絶対に使用しないでください。

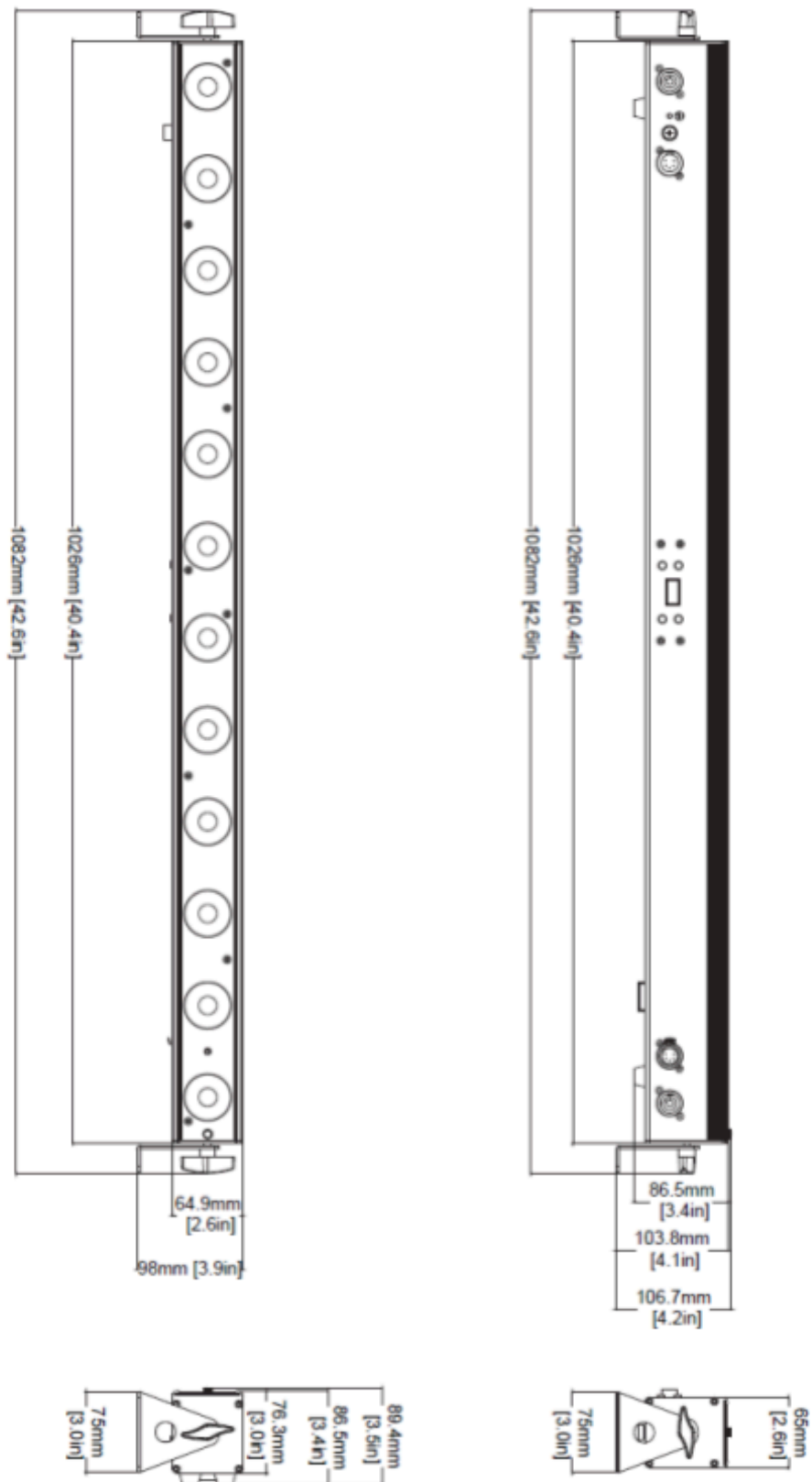
### メンテナンス (MAINTENANCE)

適切な動作と長寿命を保つために、定期的な点検を推奨します。この機器には、ユーザーが修理可能な部品は含まれていません。その他のサービスが必要な場合は、販売店にご相談ください。

定期点検時には、以下の点にご注意ください：

- A. 3か月ごとに、技師による詳細な点検を行い、回路接点の状態を確認して過熱を防止してください。
- B. すべてのネジや固定具が常にしっかり締まっていることを確認してください。緩んだネジは運転中に脱落し、大きな部品が落下して損傷や怪我の原因になる可能性があります。
- C. 筐体、カラーレンズ、リギング金具、吊り下げポイント(天井、サスペンション、トラス)に変形がないかを確認してください。筐体の変形は内部への粉塵侵入を招く恐れがあります。リギングの損傷や不安定な取り付けは、機器の落下による重大な事故につながる可能性があります。
- D. 電源ケーブルに損傷、劣化、異物の付着がないかを確認してください。電源ケーブルのアースピン(接地端子)は絶対に取り外さないでください。

# 寸法図



## 製品仕様

### 光源

- 超高輝度LED(赤・緑・青・アンバー・ライム・UV) × 12個(各20W)
- ビーム角:17°
- 演色評価数(CRI):90以上
- ピクセルピッチ:85.5mm

### 主な機能

- リニア色温度制御(2,300K~9,900K)
- RGBAL+UVによるスムーズなカラー混色
- 水平磁気アライメント機能(内蔵)

### 寸法・重量

- 寸法(長さ×幅×高さ):75×1082×106.7mm
- 重量:3.4kg(7.50 lbs.)

### 認証・保護等級

- cETLus(認証番号:4002034)、CE、FCC
- IP保護等級:IP20(屋内専用)

### 使用環境

- 動作温度範囲:-20° C~45° C(-1° F~113° F)
- 保管温度範囲:-20° C~45° C(-22° F~113° F)

### 同梱品

- 屋内用ロック式電源コード(1本)
- UC-IR24赤外線リモコン(1個)
- 20° 拡散フィルター(1枚)
- 地面設置用ノトラス取付用マウントブラケット付属

### オプションアクセサリ

- 40° リニア拡散レンズ(SKU: UBL912)

### コントロール

- リニア色温度制御(2,300K~9,900K)
- OLEDディスプレイ+4ボタン操作
- ADJ UC-IR24リモコン対応(最大10m)
- RDM対応

### 動作モード・DMX制御

- DMXチャンネルモード:6 / 11 / 13 / 16 / 36 / 43 / 46
- 6グループ×2ピクセル(RGBAL+UV)をDMXで制御可能(36/43/46chモード)
- 5つの動作モード:オートラン、プログラム、サウンドトリガー、RGBAL+UVマニュアル、DMX-512
- LEDリフレッシュレート:1.9KHz
- 内蔵カラー・マクロ:64種類
- 調光モード:6種類(Standard, Stage, TV, Architectural, Theatre, Stage 2)
- 調光カーブ:4種類(Square, Linear, Inverse Square, S-Curve)
- 内蔵マイクによるサウンドトリガー対応
- LEDパルス/ストロボ効果
- 電子調光範囲:0~100%

### 接続・電源仕様

- DMX接続:5ピンXLRケーブルによるリンク対応
- 電源:屋内用ロック式電源イン/アウト(デジチェーン接続可能)
- 対応電圧:AC 100V~240V(50/60Hz)
- 消費電力:61W